



1月の七管内全海難発生隻数は**30隻**、うち、**漁船海難は12隻！！！！**

見張りを嚴重に！！！！

漁船海難12隻のうち、8隻が『衝突』で最も多く6隻が『見張り不十分』が原因です。



左の写真は帰港中の漁船と作業現場向け中の旅客船が港口で衝突し、漁船が旅客船左舷側から乗揚げた形となり旅客船の構造物が大破した状況です。

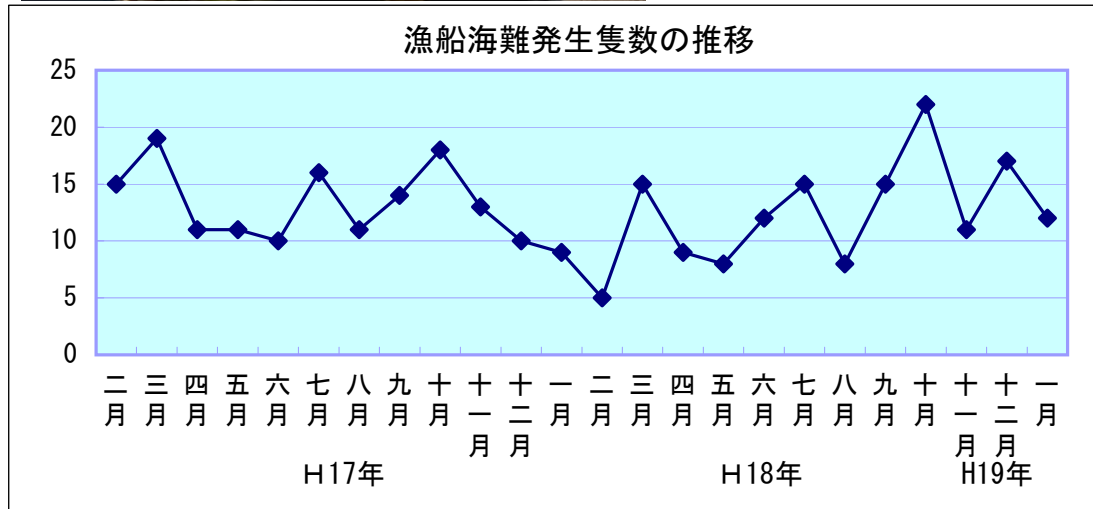
この衝突も、

双方、見張り不十分によるものです。

「相手船に気が付いた時には衝突回避動作の甲斐無く」との証言どおり、減速することもできずに衝突した衝撃の凄まじさが伺える事例です。

この衝突により、双方の乗客・乗員に計7名もの重軽傷者をだす大惨事となりました。

平成19年1月	
合計12隻	
種類別	
衝突	8
乗揚	1
転覆	0
浸水	0
推進器障害	1
舵障害	0
機関故障	0
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航障害	1
安全障害	0
その他	1
12	
県別	
山口県	1
福岡県	1
佐賀県	0
長崎県	8
大分県	2



漁船海難月報 (速報)
平成十九年一月分
第七管区海上保安本部

県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。